

8月旧盆出荷向けの白色コギク新品種「常陸サマースノウ」

[要約]

「常陸サマースノウ」は花色が白色で、光沢のある照葉が特徴的である。切花長は「はじめ」よりやや長く、花径は「はじめ」や「つばさ」より大きい。開花時期は7月下旬から8月上旬で、8月旧盆向けの出荷が可能である。

農業総合センター 生物工学研究所・園芸研究所

成 果
区 分

普 及

1. 背景・ねらい

茨城県のコギクは、県内の切り花出荷品目では産出額が第1位、全国においても栽培面積が第2位、出荷量が第3位のシェアを占め、重要な花き品目となっている。生産現場では、7月東京盆、8月旧盆、9月彼岸の物日出荷に対応するため、100を超える品種が栽培され、栽培管理の煩雑化が問題となっている。また、民間種苗会社の品種は育成地が県外であるため、本県における需要期出荷が困難であることが多いので、生産現場からは県による育種の要望が高い。そこで、市場から求められている頂点咲きの草姿で、物日出荷に対応できる県オリジナル品種を育成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 平成15年に「しずか」の自然交配種子を採種し、得られた44の実生から選抜した品種である(図1)。
- 2) 花色はRHSカラーチャートでNN155Cの白色である(図1、表1)。
- 3) 開花時期は7月下旬から8月上旬で、「はじめ」よりやや早い(表1)。
- 4) 切花長は「はじめ」よりやや長く、花径は「はじめ」や「つばさ」よりも大きい(表1)。
- 5) 切り花は生けた後、蕾からの花卉の展開が遅いが商品性には問題ない程度である。
- 6) 現地試験は、切花長と草姿の評価が特に高く、作りやすさ、花色、花質の評価も良好である(表2)。
- 7) 市場評価は、茎葉色、ボリューム感、草姿で評価が高く、特に茎葉色は評価者全員から好評で、使い勝手も良いということで総合評価は良い(表3)。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 平成23年3月18日に品種登録された(登録番号 第20657号)。
- 2) 育成時の系統番号は「ひたち7号」および「生研8号」である。
- 3) 県内全域で栽培できるが、表1の特性値は笠間市安居におけるものである。
- 4) 種苗は、(社)園芸いばらき振興協会を通じて、県内配布予定である。

4. 具体的データ



図1 コギク「常陸サマースノウ」

表1 コギク「常陸サマースノウ」の特性（試験：平成20年、笠間市安居）

品 種	花色 (RHS) ¹⁾	開 花 始～終 (月・日)	切 花 長 (cm)	切 花 重 (g)	節数 (節)	分 枝 数 (本)	花 蕾 数 (輪)	花径 (cm)
常陸サマースノウ	白 (NN155C)	7.26～8.5	80.3	50.6	28.8	11.8	38.2	4.8
はじめ	白 (NN155C)	8.7～8.15	75.6	50.6	35.4	9.8	32.6	4.0
つばさ	白 (NN155C)	7.30～8.5	90.6	80.8	34.6	10.4	31.5	3.3

1) RHS カラーチャートによる。

表2 現地試験におけるコギク「常陸サマースノウ」の生産者評価

試験年	導入希望 有：無	総合 評価	収量	作り やすさ	病虫害 発生	切 花 長	花色	花質	茎 葉 色	ボリ ュ ーム	草 姿
平成19年	3：0	2.7	3.0	3.3	3.0	3.7	3.3	3.5	3.3	2.7	4.0
平成20年	2：1	3.3	3.3	3.7	3.3	4.0	3.7	3.7	3.0	3.0	—

注) 生産者3名による評価。総合評価・作りやすさ・切花長・花色・花質・茎葉色・ボリューム・草姿；1：極劣，2：劣，3：中，4：良，5：極良。収量；1：極少，2：少，3：中，4：多，5：極多。病虫害発生；1：甚，2：多，3：中，4：少，5：無。

表3 コギク「常陸サマースノウ」の市場評価（試験年次：平成19年）

花色	花の大きさ	花の形	花数	茎葉の色	ボリューム感	草姿	総合評価
良い	やや良い	やや良い	良い	良い	良い	良い	良い

注) 評価者数は6名。評価者の結果を良い、やや良い、普通、やや悪い、悪いの5段階化した。

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

- 1) 本県小ギク産地活性化のためのブランド品種の育成・平成14～平成19年度・生物工学研究所果樹・花き育種研究室
- 2) 新品種育成普及促進事業・平成6年度～・生物工学研究所果樹・花き育種研究室
- 3) 新品種育成普及促進事業・平成19年度～・園芸研究所花き研究室